

観光動態からみた地域の観光目的地としての魅力度評価

— 東京都市圏を事例として —

杉本興運*・村山祐司**

*首都大学東京・都市環境学部

**筑波大学・生命環境系

1. 研究の背景と目的

従来の観光行動の分析

マクロスケール：都道府県間や国家間の観光流動統計

ミクロスケール：GPSロガーや活動日誌による観光行動調査

→ 都市圏など広域行政圏スケールでの詳細な行動は不明のまま

OSISの「人の流れデータ」では個人の年齢、性別、職業、活動推移まで把握可能であり、かつ様々な都市圏のデータが存在

→ 「人の流れデータ」を観光行動分析に活用

都市圏にある様々な地域の観光目的地としての魅力度を観光動態のデータから評価する

最近では…

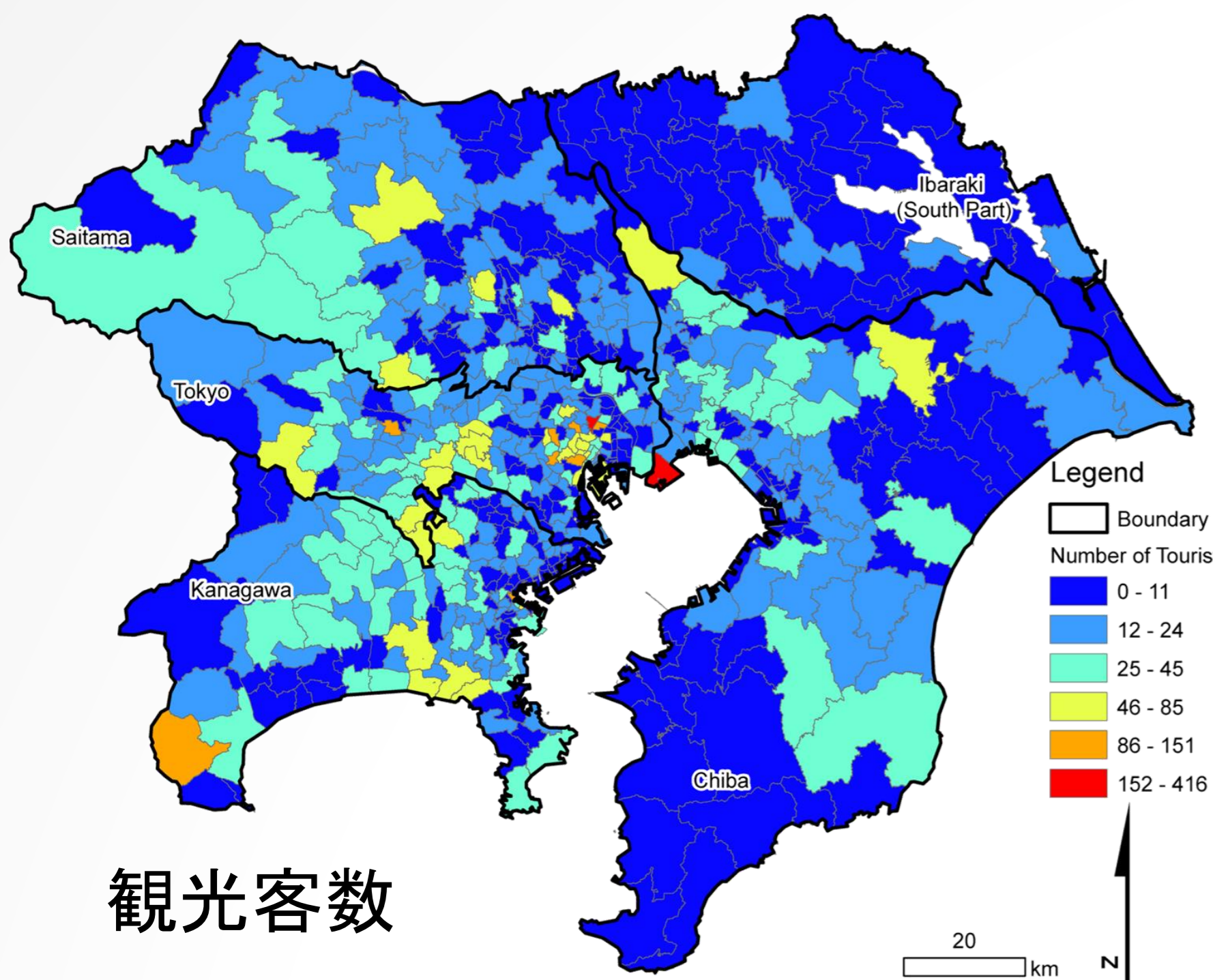
携帯電話から収集した長期間の移動データ

→ 観光客の細かい属性までは分からない

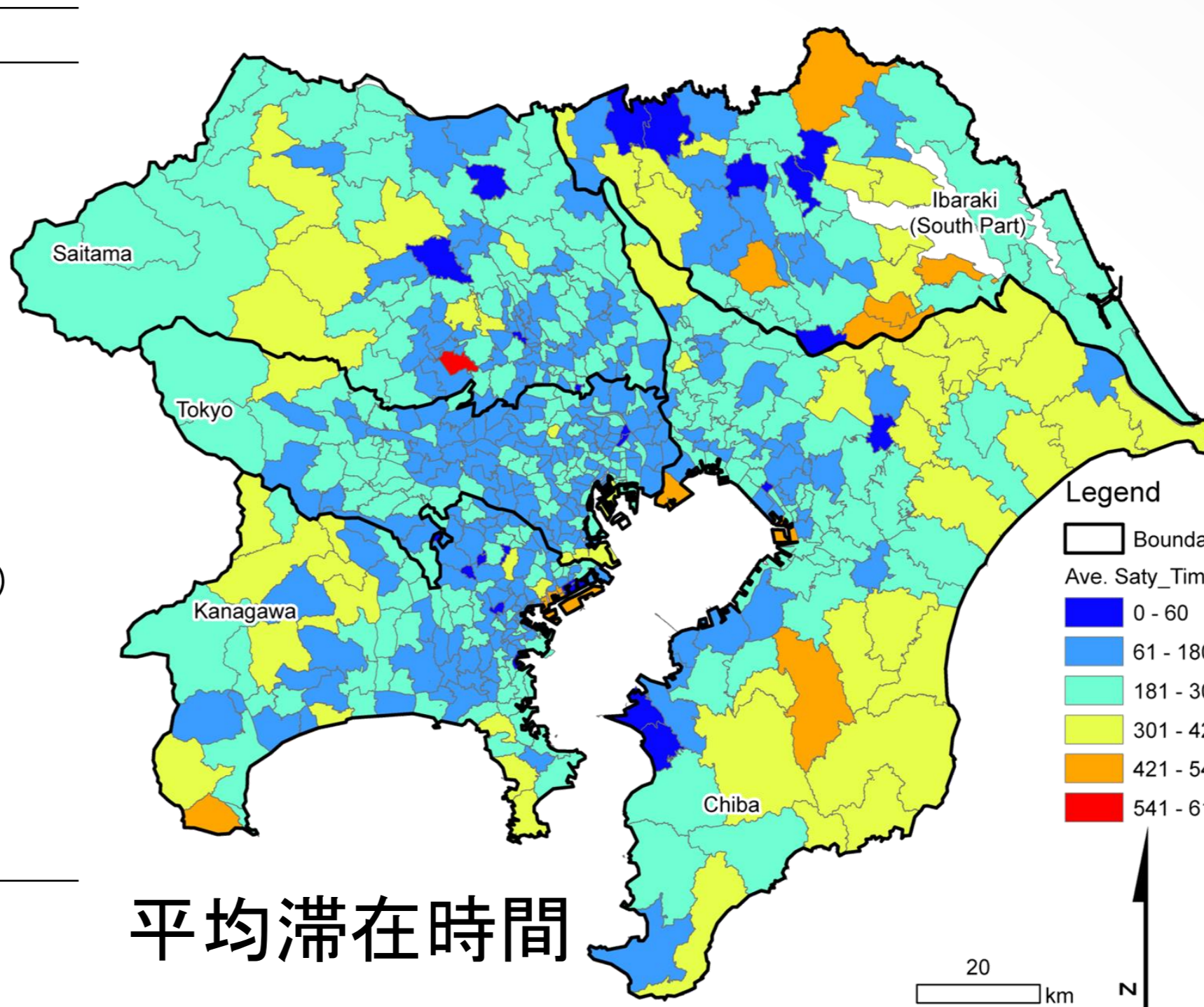
2. 研究方法

1. トリップに一度でも「観光」が含まれていた10,948人のIDを抽出
2. 個々人の10分ごとの移動軌跡の空間データを作成
3. 観光滞留行動のログを抽出
4. PT調査の小地域別に「観光客数」と「平均滞在時間」を計算
5. 観光客の年齢別にみた地域の観光目的地としての魅力度を評価

3. 地域の魅力度評価



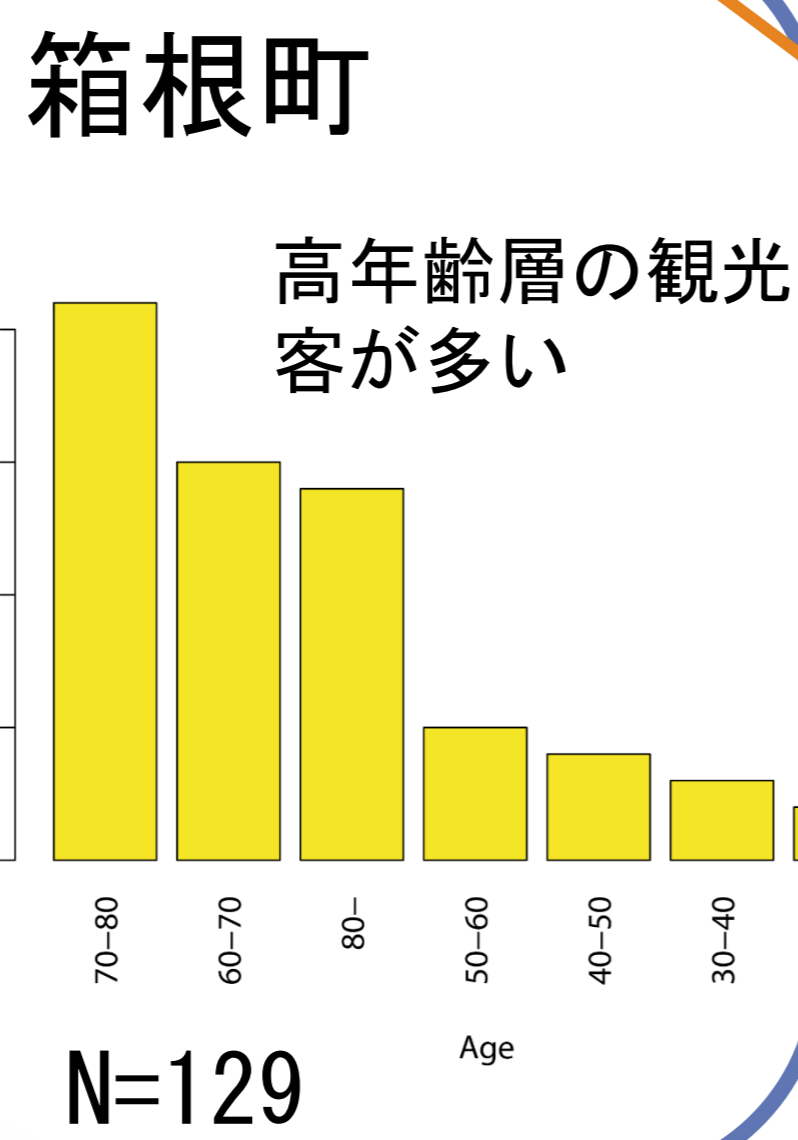
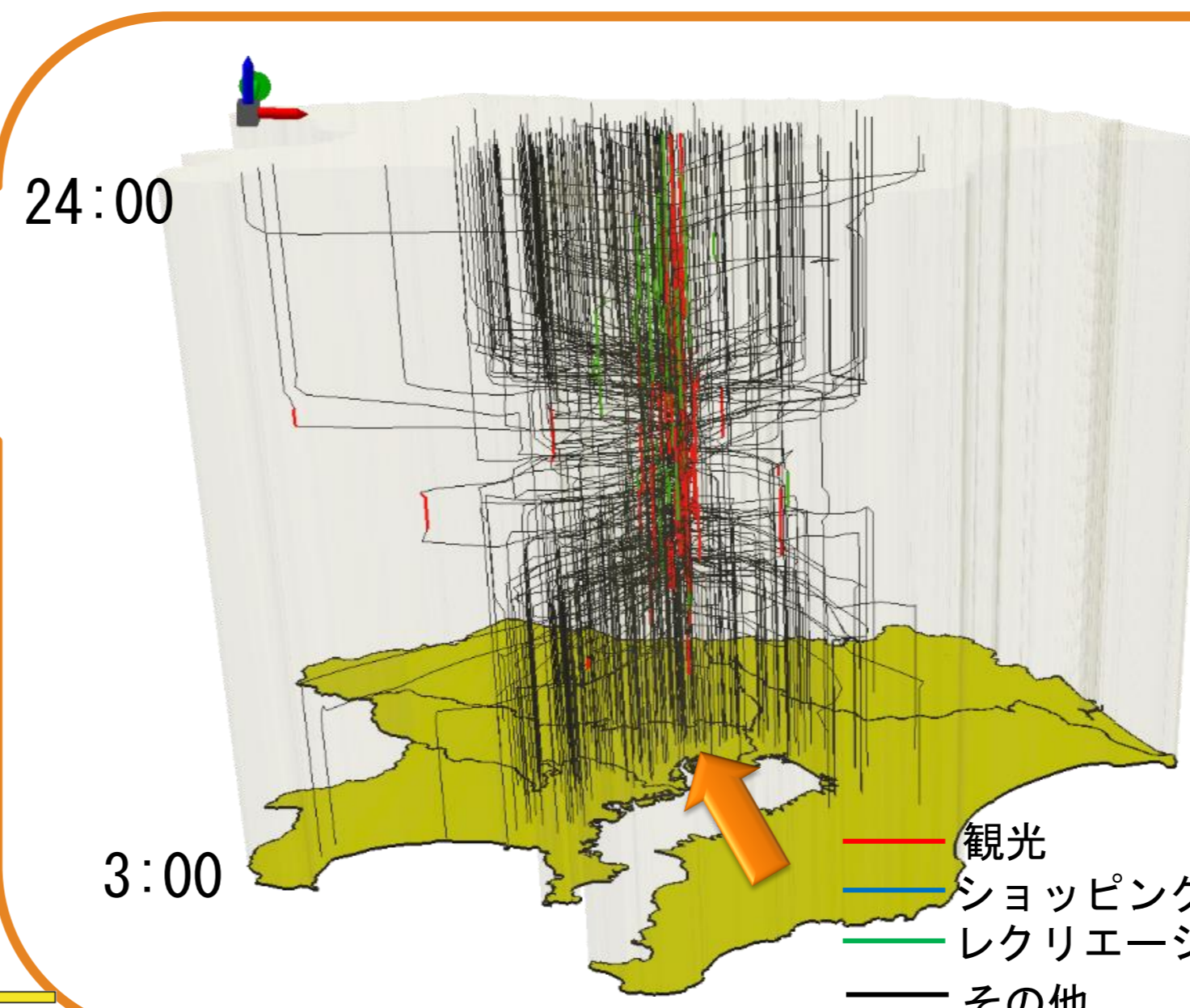
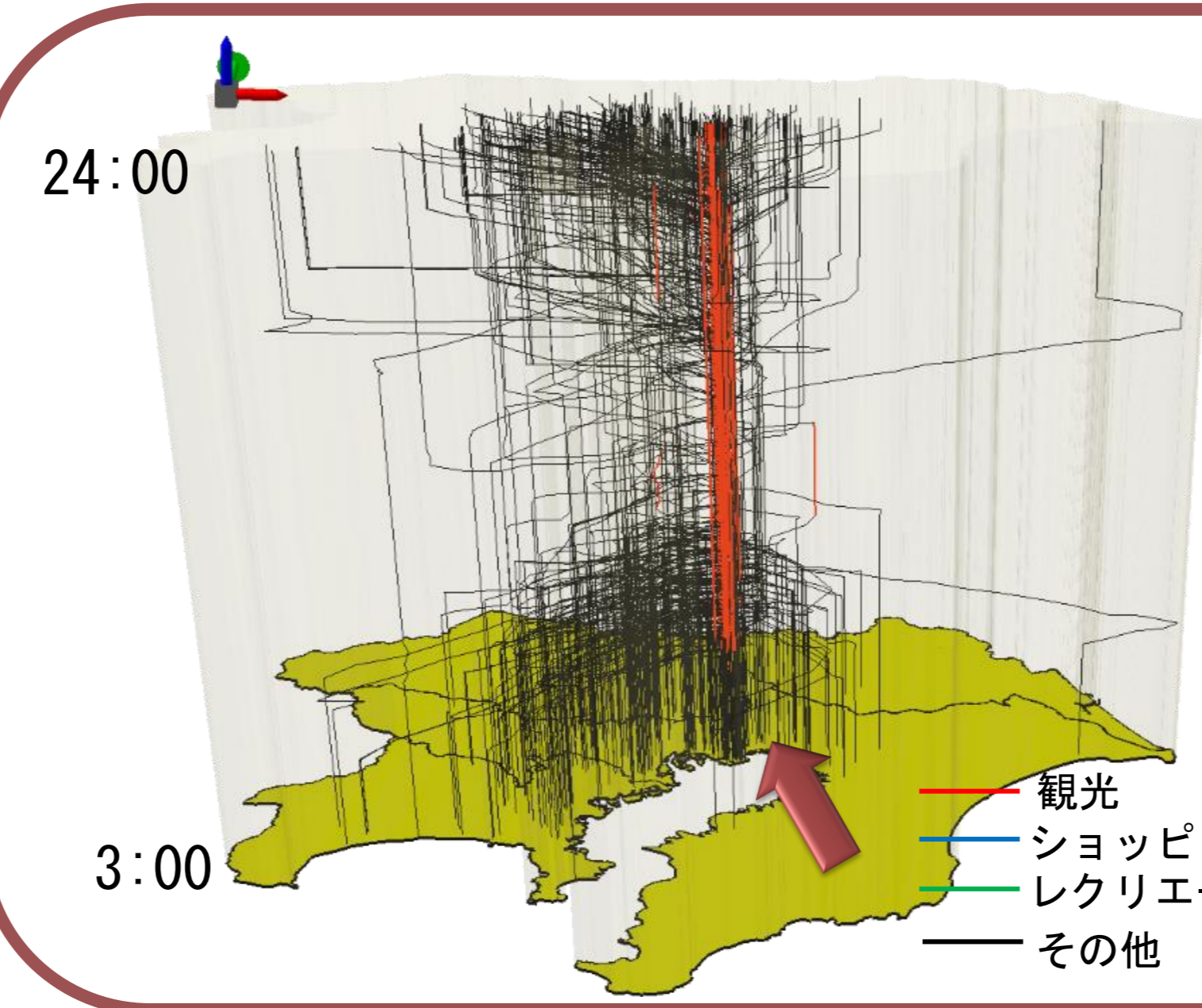
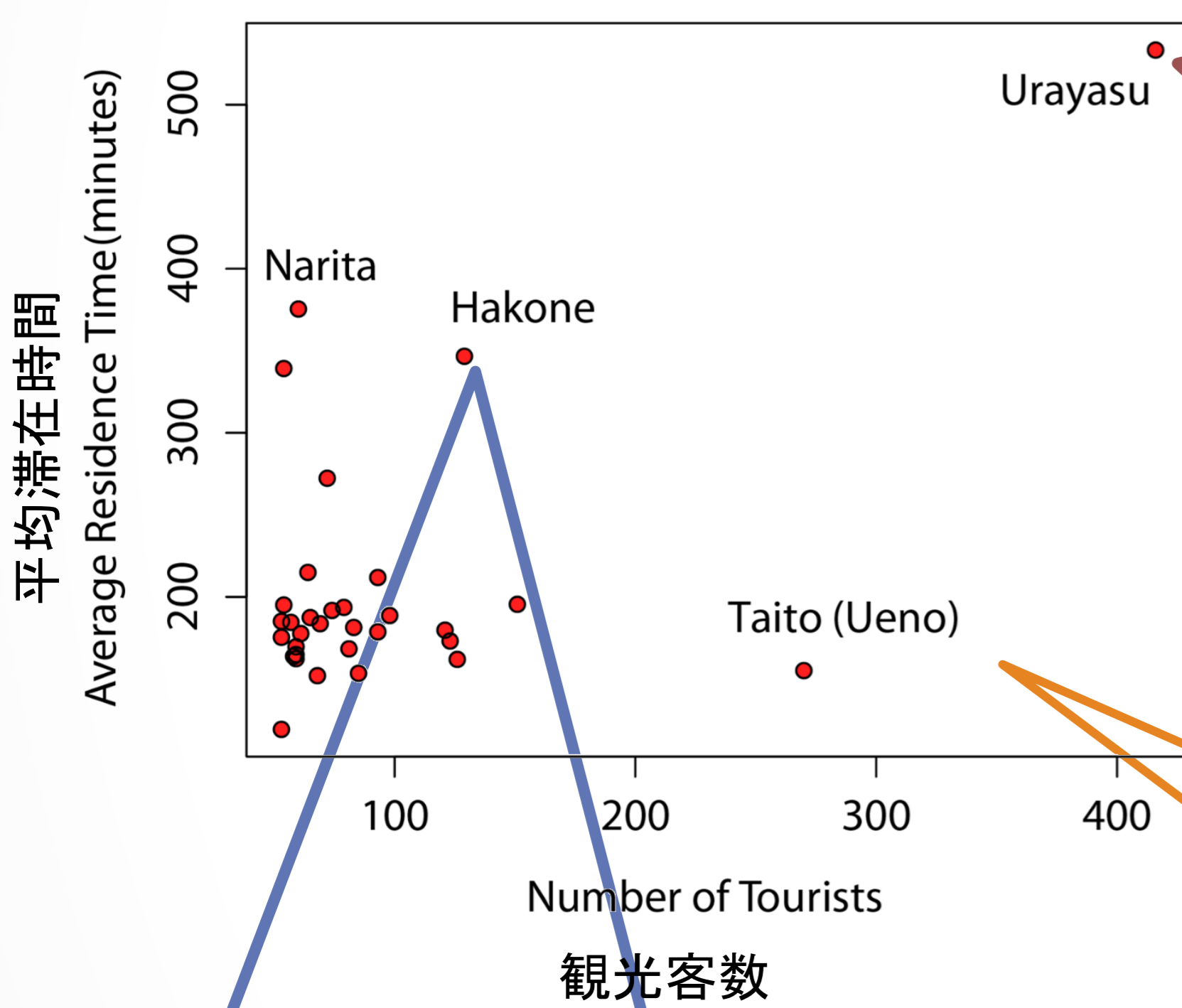
Rank	Region
1	浦安市
2	台東区（上野）
3	立川市
4	箱根町
5	港区（六本木）
6	台東区（浅草）
7	新宿区
8	渋谷区
9	文京区
10	横浜市（みなとみらい）
11	千代田区（皇居）
12	鎌倉市（由比ヶ浜）
13	横浜市（山下公園）
14	藤沢市（辻堂）
15	中央区（銀座）



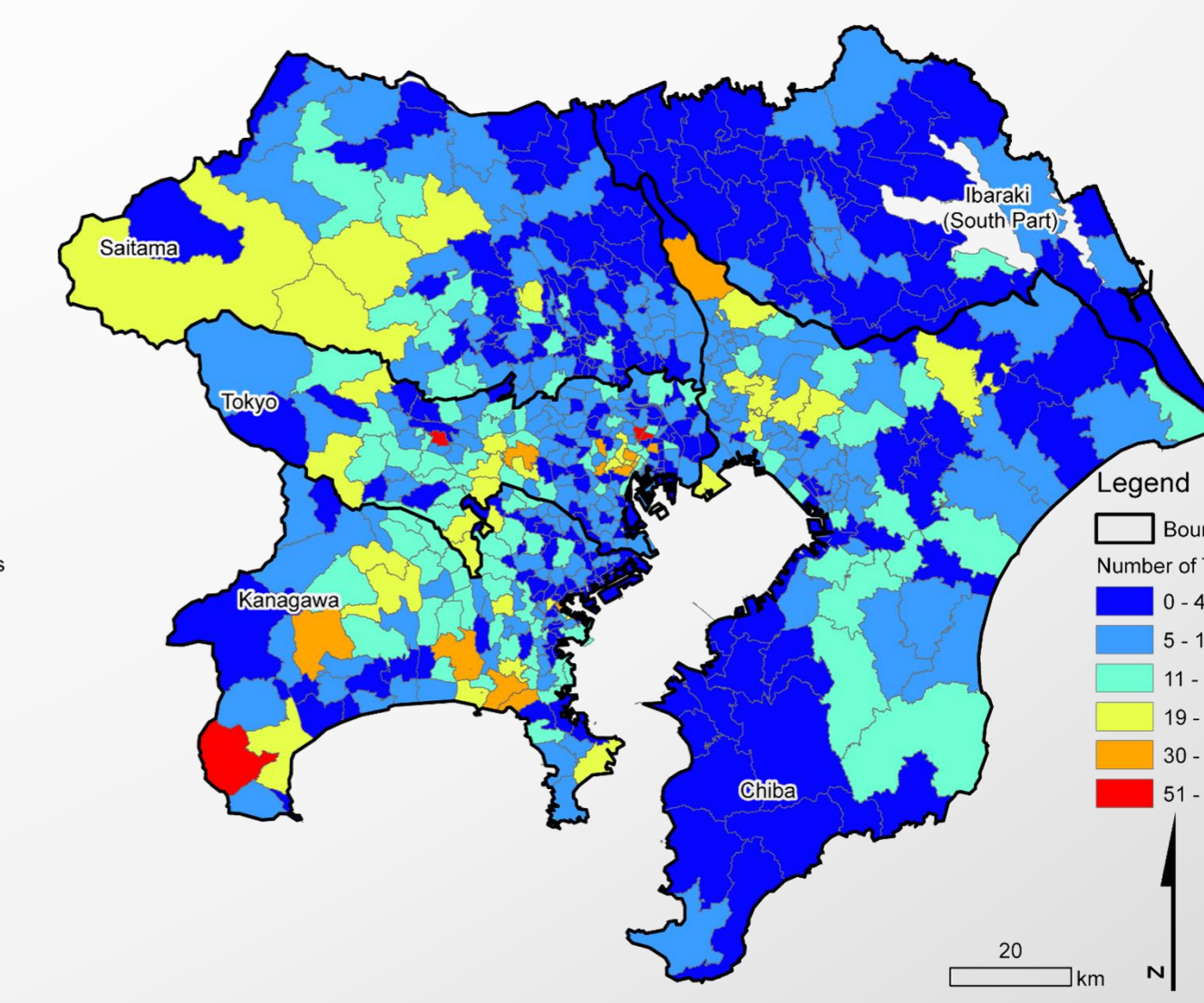
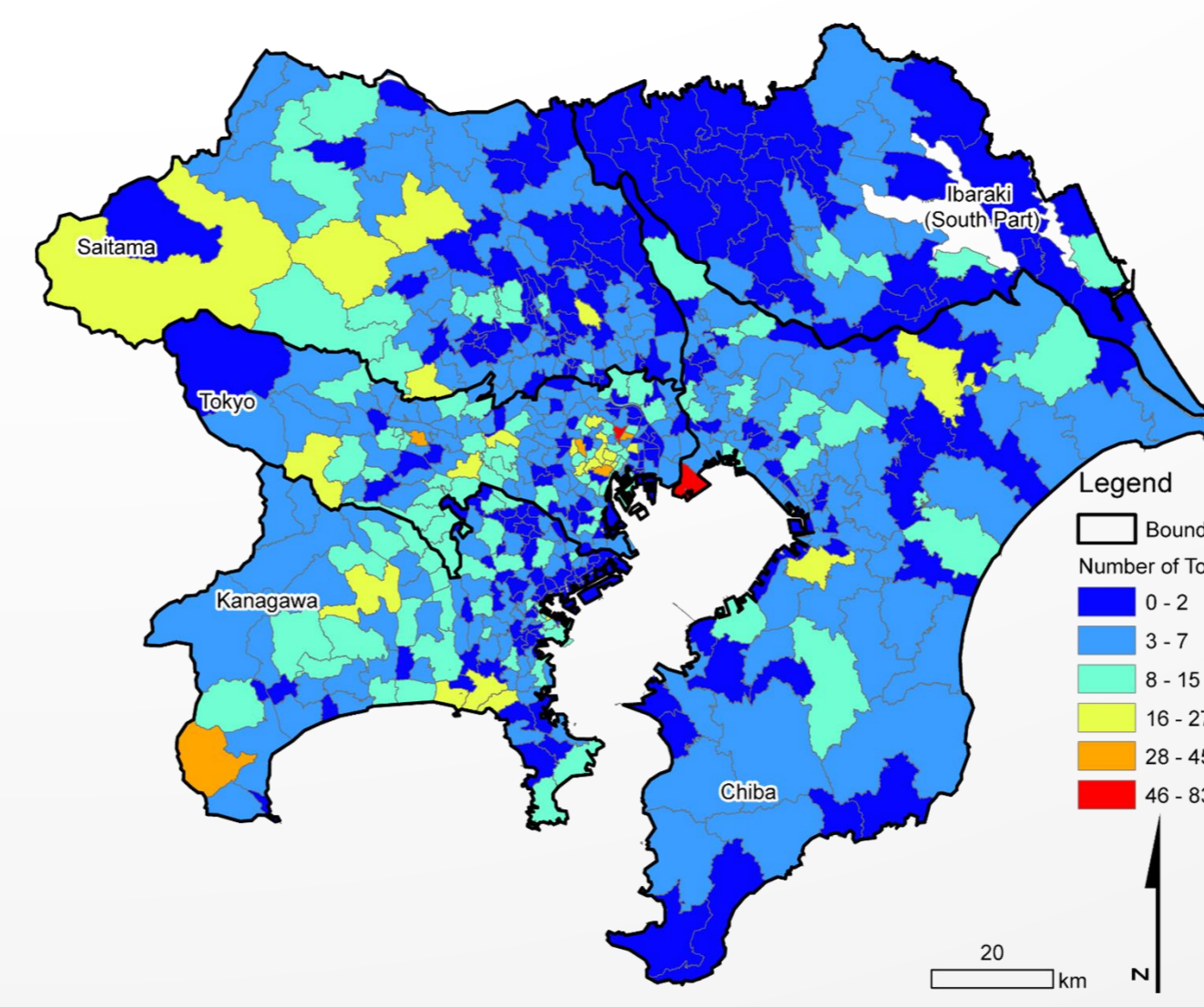
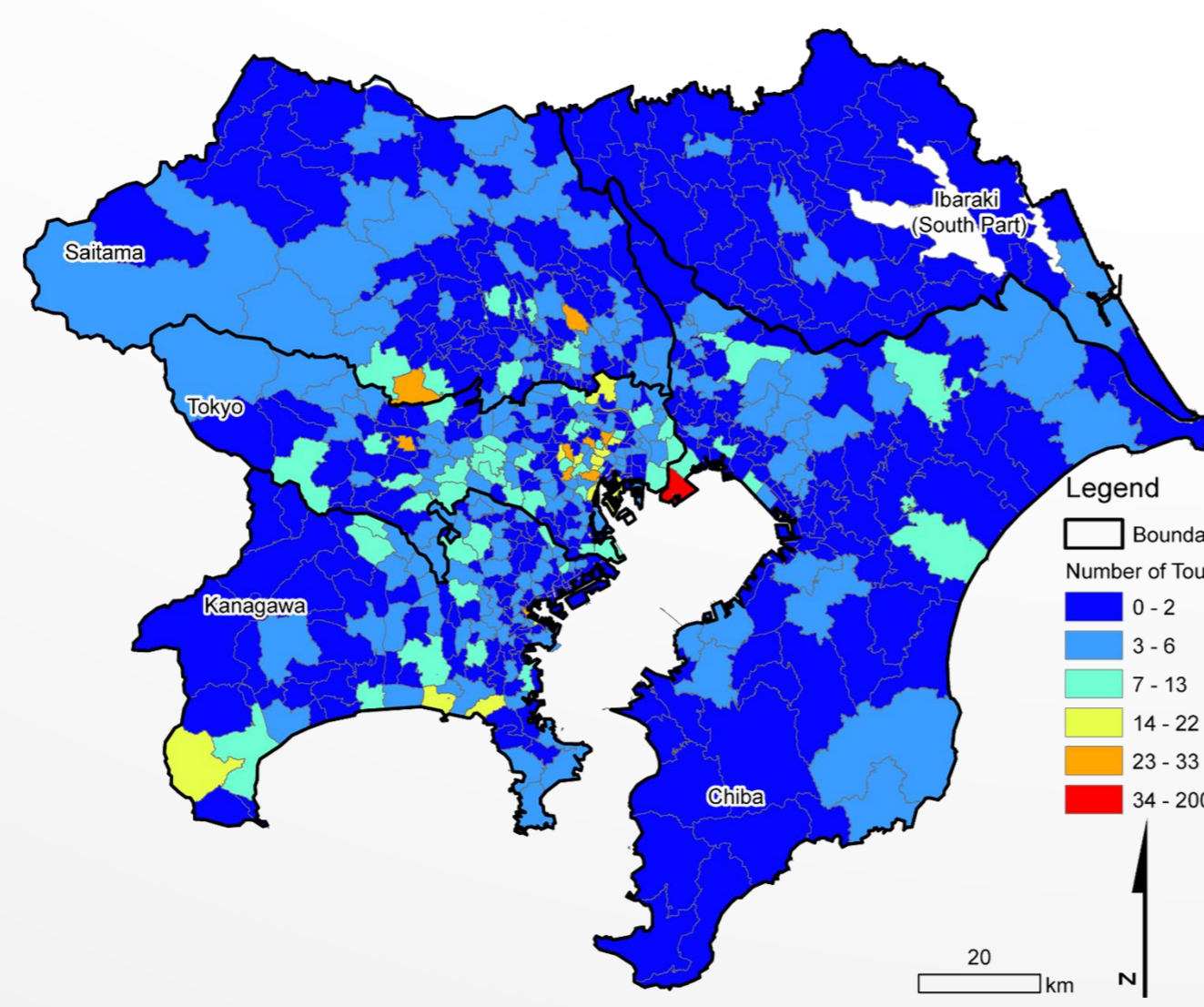
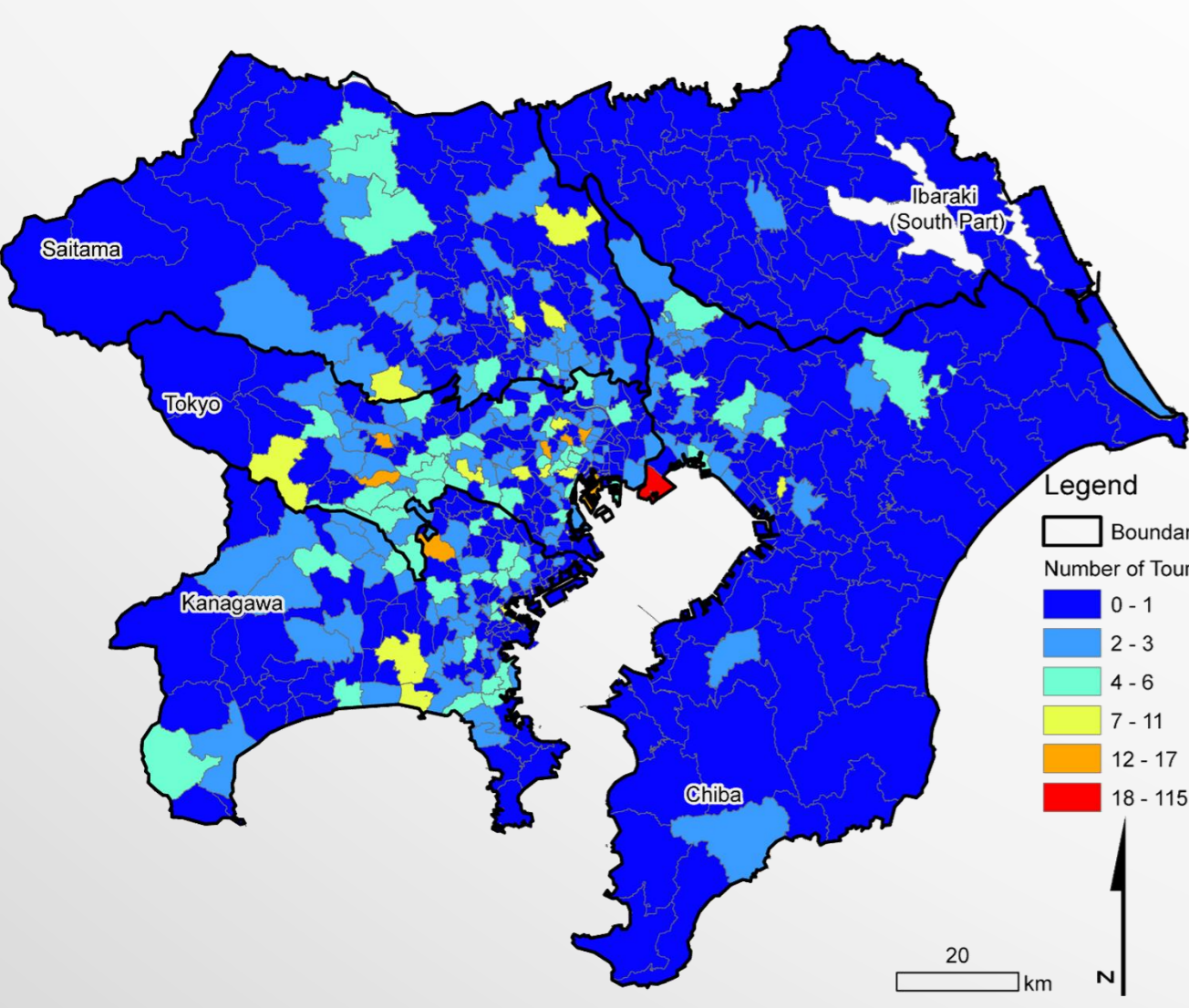
Rank	Region
1	浦安市
2	成田市
3	箱根町
4	江東区（豊洲）
5	所沢市
6	さいたま市（緑区）
7	文京区
8	立川市
9	千代田区（永田町）
10	藤沢市（辻堂）
11	中央区（銀座）
12	渋谷区
13	港区（赤坂）
14	千代田区（神田～）
15	豊島区（池袋）

※観光客数が上位30位の地域（32地域）を対象に算出

観光客数と平均滞在時間の関係



年齢層によって選択される観光地が異なる
→ 年齢別の観光客数の分布



年齢層が高いほど都心部の観光地域だけでなく郊外の自然観光地を訪れる

・観光者の嗜好性そのものの変化
・年齢が上がるにつれて収入増や退職などを経験し、生活に余裕ができた

【今後】小地域間観光流動のデータ化と年齢別の距離抵抗の分析